

こしがや緑のオアシスの募集について

◆ご家庭・職場での緑のオアシスの取組みについてご応募ください◆

- ▶平成28年度は、新方地区・川柳地区を中心に、市内全地区から募集を行います。
(今までに募集を行った地区：H25 大袋・大沢・蒲生、H26 桜井・北越谷、H27 荻島)
- ▶募集部門は、「緑のカーテン」「緑の庭・生垣」「屋敷林」「緑の畦」「その他の緑のオアシス」です。
- ▶緑のカーテンについては、学校や地域の協力を得ながら、苗作り・配布も同時に行います。
- ▶優秀な取組みを地域の「こしがや緑のオアシス」として認定・表彰します。
(認定証・認定プレート等を贈呈)
- ▶認定された「こしがや緑のオアシス」は、市の環境事例報告集等でも紹介させていただきます。
- ▶個人の住宅のみでなく、事業所や団体などからのご応募もお待ちしております！！
- ▶自薦、他薦いずれでも結構です。
※他薦の場合はなるべく所有者の方に事前にご確認ください。



越谷市環境推進市民会議・越谷市

【お問い合わせ】

越谷市環境推進市民会議事務局（越谷市役所環境政策課内）

住所：〒343-8501 越谷市越ヶ谷四丁目2番1号

TEL：048-963-9183 メール：10085100@city.koshigaya.saitama.jp



出典：東北電力ホームページ、財団法人省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典」

こしがや緑のオアシス 2020プロジェクト



❖「緑のオアシス 2020 プロジェクト」について

＜趣旨＞

「緑のオアシス」とは、緑のカーテンや生垣・緑の庭、屋敷林等を創造・維持管理していく活動の総称です。

越谷市環境推進市民会議と越谷市では、こうした身近な取組みから、節電や地球温暖化問題について考え、楽しく実践し、取組みの輪を地域に広げていくことを目的に、学校・地域コミュニティ・事業者等が連携した「こしがや緑のオアシス 2020 プロジェクト」を平成25年度から実施しています。

＜目標＞

このプロジェクトは、2020年（平成32年）までに、市内の家庭や学校、事業所などで「2020のエコな取組み」が実施されることを目標としています。

＜認定＞

「こしがや緑のオアシス 2020 プロジェクト」において応募された取組みのうち、特に優れたものを「こしがや緑のオアシス」として認定しています。これまでに204件が認定されています。



❖こしがや緑のオアシス認定式

「こしがや緑のオアシス」に認定された方には、記念プレートと認定証をお渡ししています。平成27年度は荻島地区を中心に66件の取組みが認定され、平成27年10月16日に、イオンレイクタウンで開催された「Act Green ECO WEEK 2015」でのイベント「地球にいいことスクール」にて認定式を行いました。



認定式の様子

こしがや緑のオアシス

❖ 緑のカーテンづくり

「緑のカーテン」とは、ゴーヤやアサガオなどのつる性の植物をネットなどに這わせ、窓から入り込む強い日差しを遮って、室温の上昇を抑えてくれる自然のカーテンのことです。

＜効果＞

1. 遮光

エアコンの設定温度が同じでも、窓付近での体感温度に11℃もの差が出ます。

2. 蒸散作用による冷却効果

「緑のカーテン」は光だけでなく、熱も遮ることができます。

約20～30%の省エネ効果

※外気温度31℃の時、エアコン(2.2kW)の設定温度を27℃から28℃にすると(1日9時間使用)、年間670円の電気代節約になります。



平成27年度は、荻島小学校の子どもたちが育てたゴーヤの苗を地域の方々に配布しました。子どもたちは、荻島小学校運動会の日に地域の方に配布しました。育てた苗の一部は、学校の緑のカーテンになりました。



▲荻島小学校でのゴーヤ配布のようす

また、「緑のカーテン講習会」を開催し、緑のカーテンの効果や基礎的な育て方の講習を行いました。受講者へは、講習後にゴーヤの苗を配布しました。



▼緑のカーテン講習会のようす



◀▼認定された緑のカーテンの例(これまでに144件が認定されました。)



増林地区 高橋様



荻島小学校



南越谷地区 吉田様

❖ 屋敷林の維持管理

越谷の原風景でもある「屋敷林」は、代々、農家の方々の手によって大切に守られてきたものです。また、これらの貴重な緑は、多くの生き物を育み、たくさんの二酸化炭素(CO₂)を吸収しています。まさに、地域のシンボル・自然の宝といえます。

▼認定された屋敷林の例(これまでに20件が認定されました。)



荻島地区 星野様



荻島地区 豊田様



荻島地区 桃木様

❖ 緑の庭(ガーデン)・生垣の創造・維持管理

古くから守られてきた高垣やこまめに手入れされた生垣はまちに潤いや安らぎを与えます。

また、野鳥の集まる実のなる木々や四季折々の草花、緑の芝生を配した庭などは、人にも生き物にも優しい憩いの空間です。

▶認定された緑の庭・生垣の例
(これまでに35件が認定されました。)



荻島地区(匿名)

❖ 緑の畦(あぜ)の創造・維持管理

越谷の田んぼ(水田)や水路は、水郷こしがやと呼ばれる田園風景を今に残す貴重な緑です。

中でも、レンゲやタンポポなどたくさんの草花が咲く緑のあぜは、伸びた草を、草刈機でこまめに刈り取ることで維持されます。

(これまでに応募はありませんでした。)



参考例

❖ その他「緑のオアシス」の趣旨に合った取組み

例：地域のシンボルとなる樹木、学校ビオトープ、社寺林など。

▼認定された取組みの例(これまでに5件が認定されました。)



五社稲荷神社の社寺林
(荻島地区)



森家のイチヨウ
(桜井地区)



獨協埼玉中学高等学校の
ビオトープ